

軍事機秘

遊撃戦法ノ裏ヲ搔ク方法

將校研修資料 其十四



0260

先般偕行社記事 特号 技藝 「紅軍ノ常用遊撃戰法」

「將校研究次頁料其十」 三基キ遊撃戰法ノ裏手戰法ヲ研究シ参考ニ資セントス
固ヨリ當地ノ實狀ニ未ク十分ナル經驗ヲ有セス 只陽原出動其ノ他ノ經驗ニ徹
シテ即急ノ教育資料トラシメシカ爲ニ記述セルニ過キス故ニ之ニ運用ハ更ニ各官

ニ於テ研究セントヲ望ム

0261

遊撃戰術ノ意義ニ関スル考察

「ナポレオン」「モスコ」進撃戰ヲ一大例トセリ之レ即チ茶翁式軍隊對軍隊ノ擊破戰法ニヨリ敵國ノ主都即チ政治中心ヲ占據シテ敵國民ヲ屈伏セシメルノ戰略ノ裏手トシテ軍隊ヨリテ寧ろ國民全部ノ敵愾心ヲ利用シ自國內タルノ使ヲ利用シテ以テ限リアル攻者戰力ノ重矣先鋒ニ集中セラル、時ニ「すかし」ヲ喰シテ 胴脚ヲ撃チ又背後ヲ斷ツト言フ思想ナリ此ノ戰術ハ即「自國內」「多數民衆ノ後援ヲ必要トスノ條件ヲ必至トスルハ第三項ニ記セル通りナリ

特ニ吾部隊ハ五里霧中ニ戰カテ有スルニ過キス此五里霧中ノ情態ヨリシテ匪狀地形民情ニ通シ戰力ノ強化スルニ從ツテ適切ナル戰力ヲ發揮ヲ爲シ得ルナリ遊撃戰法ハ五里霧中ニ敵軍ヲ陷ラシメ其弱兵ヲ衝カントスルニヤリ吾人ハ速ニ此ノ五里霧中ノ狀態ヨリ脱出セサルヘカラス之カ爲一民心ヲ歸依セシメ民衆ヲ戰陣ノ爲ニ協力一致セシムニ匪狀ヲ明カニシ其習性能力ヲ知ル三地形民情ニ通曉シ戰力運用ヲ計畫的ナラシム吾等ハ他國內ニ戰フ彼レハ自國內ニ戰ヘリ乍併多數民衆ノ後援ニ関シテハ當地方ノ良民ハ必ラスシモ彼等共匪准共匪ノ欲スルカ如クナラスシテ幸ニ當地方良民ハ官憲ニ信服シ柔順ナルノミナラス公安局

保安隊自衛團ナルモノハ凶暴的ニ良民保護ニ真奴ナラシム得ルモノト認メラレ良民即チ地方
農民亦皇軍ニ信頼セシムルコト敢テ不可能ニアラス又此クセルヘカラサルモノナルハ吾等皇軍ノ
皇軍ナル所以ナリ此ノ真ニ於テハ吾人ハ彼ノ遊撃戦法成立根本タル民衆利用ノカハ吾人ハ大イ
ニ滅殺シ得ルコトニシテ又此ノ真ニ於テ吾人ハ思想的攻撃ヲ加ヘ又皇軍ノ真姿顯現ニヨリ
テ目的ヲ達成セカレヘカラス

今回陽原出動ニヨリテ同縣内ノ縣長公安局員保安隊自衛團ノ皇軍ニ信頼スルコト絶大ナル
コトノ談議及自警團自体カカ武器ナキ能ク匪徒ヲ城壁ト相俟ツテ献身的ニ活動セル實例少
カラカルコト及之等ヨリ

得ル所ノ諸情報カ兵力等ニ於テハ相當ノ誤謬アルモ大体ニ於テ正直精確ナルコトヲ知ルヲ得ルカ
故ニ之ヲ善活用助長シテ以テ善皇軍ニ信頼シテ十リテ彼匪徒ニ上當ルコトヲ考ヘカラスコト
即チ民心把握ニシテ遊撃戦法打破ノ根本問題ナリ

其ノ手後トシテハ

皇軍ニ良民ヲ信頼セシムルコト

聖勅ヲ奉体シ皇位皇徳ヲ出動時敢テノ聲ニ送ラレタル時誠心覺テ一死奉公、滅松奉公

0263

ノ純真ナル氣分ニ幹部カ不斷ニ砥礪シテ兵ノ純清ヲ正道ヘルニ一兵ノ遺憾ナカシムルコト
カ根本問題ナリ西伯亞出兵濟南出兵勿論滿洲事變ノ某々隊ノ如キ忌シキ事ヲ決
シテ行ハサルコト肝要ナリ

聞ク所ニヨレハ我守備地ニハ激戰地又ハ急追地ニシテ從ツテ人氣荒キ戰ノ跡ナレカ爲
特ニ民衆カ敵軍ノ壓制ニヨリテ色々戰ヒニ使用セラレタルカ爲其怨恨ニヨリ又便衣ノ敵匪
多カリシカ故ニ土民ニ對シテ相當ノ猛威ヲ振ヒタルカ如シ之レ已ムヲ得サル所ナルカ合トナリテハ
自然ニ皇軍ニ對スル恐怖多クシテ信賴ヨリ遠カシムルノ一原因タルモノト曰ハサルヘカラス

從ツテ之ヲ恢復スルコトハ實ニ肝要ナリ又大工作ナルカ如キモ事實ニ於テハ前記ノ實情ナ
ルヲ以テ決シテ見込ミナキニアラス彼等ハ絶對權カヲ持ツ皇軍ニ對シテ命ケテ目ヲ見
張リテ其心ト行爲トヲ觀察シアリ其心トハ即隊長ノ精神性格ニシテ其行爲トハ兵爲
ス所ナリ幸ニ今回出動ニ際シ各隊ハ能ク本職ノ意圖ヲ体シ又兵ノ行動皇軍ヲシテ見エ
一般ニ一段ノ信賴ヲ收メ得タルヲ確信スル所ナリ

特ニ今回感シタルハ當地カハ滿洲ノ如ク惡辣ナル日本人鮮人ノ荒シ廻リタル地方ト異リ

0264

テ余程純真ナリ此故ニ

「武勇ノ條ニ訓ニ給ヘルカ如ク

常々人ト交ルニ付溫和と慕フ一世人ノ愛敬ヲ受けんと心掛けテ軍人トシテ
猛威と振いたるむにはせう人ト忌み嫌ひて豺狼なるとの如く思ひらん心すべし事

にこそ

ノ條ヲ深ク深ク肝ニ銘シ討匪憐民即良民ヲ救ヒ匪徒ヲ撃ツノ實ヲ擧ケカルヘカラス

之カ爲ニ肝要ナルハ匪民ノ辨別ヲ明カニスルニ下リ

我兵ハ言葉不通ニシテ匪民ヲ全ク辨別シ得ズ從ツテ良民ヲ苦シム其ヲ殺戮シ匪賊
ヲ逃遁セシメ災ヒノ種子ヲ増スノミト云フ形ニ陥リ易シ故ニ之カ爲ニハ是非共ニ何等カノ
辨別法ヲ設ケカルヘカラス

之カ爲良民ハ日本兵至ルモ決シテ逃テヘカラス出テ迎ヘテ泣ラス帽子ヲ取り襪ヲ爲スコ

トノ規定ニシ逃ケルモノハ匪ト誤ルヘキヲ示シ抵抗スルモノバ之ヲ撃ツコトヲ教フ

此ノ事ハ公安局保安隊自衛團ニヨリテ「敵ニ十分ニ徹底セシムルコト肝要ナリ

此ノ事ヲ徹底セシムルコトハ相當ニ困難ナルモ極力諸般ノ手段ヲ講シテ之カ徹底ヲ

0265
0266

テ余程純真ナリ此故ニ

武勇の條に訓を合ハルカ如ク

帝々人ト接シテ温和と第一ノ諸人ヲ愛敬を得むと心掛ケテ由テ高ミ妙クも
威と振ハルハ果ハセ人モ忘テ嫌ハシ豺狼ノ如ク思ハラハサキニシテ

0265
0266

期スル如ク警察自衛機関ヲ通シテ官民ニ實行ヲ要求シ之カニ實行ヲ見ハ或ハ良民ヲ裝
フモノモアルヘキモ大過ハ起スコトナカルヘシ

尚憲兵及地方側ニ於テ此兵ヲ十分ニ研究シ之ヲ軍隊ニ傳ヘキヲ要求シテ此如キ手段ヲ講シ匪
民辨別法ヲ兵ニ教育シ匪ヲ發見シテ之ヲ討ツコトニ過誤ヲ少クシルコト所要ナリ

從來軍隊カ良民ヨリ恐ルニ至リシ行爲ノ主ナルモノヲ擧ケレハ

一 暴行

甚タシキハ銃殺 然ラサルモ徒ラニ改打シ又拘禁ス

〔滿洲經驗者ハ通譯ト雖非常ニ撲ル癖アリ之レ不可ナリ〕

嫌疑者ノ取調ヘ等ハ大体地方官憲ニ立會ヒ致サシムル可トス

二 悪行 強姦 強盜

強姦ハ特ニ某隊ニ於テ兇番ノ狀ヲ呈シ強盜ハ又目ニ餘ルモノアリシト言フ中ニ家内入りテ日

星シキモノヲ持チ去ル程度ノモノモアリシト言フ

〔強姦ヲ兇シカ爲ニ縣政府ニ云或ハ鮮尸或ハ土人尸ヲ集メテ提供セルモノモアリ〕

三 彼レノ好意ノ儘ニ多數ノ支那人ヲ出サシメ苦カトシ或ハ洗濯其他ニ至ル迄爲サシメ〔支那拂

ハス 幾級程度ニテ使用セルモノアリ

〔宿舎料等ヲ全然支拂ハサルモノアリ〕

右ノ如キ皇軍ニアルマシキ匪行ヲ敬テスルカ如キハ我部下ニハ斷シテアルマシキ事タルヲ確信ス
此際特ニ留意スルハ何處迄モ吾等ハ敵地ニアルノ觀念ヲ忘レス 如何ニ彼ノ良民ニ服信賴ス
ルモ吾等ハ必ズヤ腹ニ許ス所アルヘカラス 決シテ油斷スヘカラス 待ツ有ルヲ 特ムク備ヘテ計
畫ナク只慢然日本軍ノ威カハ何物モ来ルモノニアラスト 敵ヲ侮リ狀況ヲ樂觀シ過キ或ハ疲
勞困憊ニテ警戒カヲ失ヒ油斷ヲ生スルカ如キハ彼レノ得テ乘セントスル所ナルカ故ニ各隊長ハ
勿論各級幹部ハ此ノ如キ時機ニテ自ラ緊張シテ所要ノ巡察ヲ行ヒ或ハ非常召集 整備
演習等ヲ行ヒ以テ不覺ノ隙ヲ與ヘサルコト肝要ナリ 特ニ彼等ハ「幹部ヲ窺フ」主義アルヲ
以テ分屯部隊隊長ハ自ラ身邊ノ護衛ニ特別ノ部署ヲ爲シ常ニ寸分ノ隙ナキノミナラス
次級者ハ何時ニテモ先住者ニ代リテ指揮シ得ルノ準備ナカルヘカラス 隊長ノ死傷ニヨリテ部
隊ヲ指揮ヲ失フカ如キハ以テノ外ナリ

6

0268

敵狀搜索 謀知

敵情、搜索謀知ハ憲兵警察官、自衛團ヲ以ツテ現在迄ハ組織シアリ、其ノ精度ハ概ネ良好ニシテ既述ノ如ク相當之籌機關ハ真知ニ活動スル結果ナルヘシ、但尚敵陷トシテ速度ノ増加及終始不斷ノ訓練ヲ必要トス、尚將來ハ左ノ点ニカヲ致サレハカラス

一、民衆ヨリ進ンテ匪狀ヲ呈セシムルコト

ハ、避難民、行商人、旅客ノ訊問

ス、民衆自体ヨリ進ンテ謀報機關ニ報告セシム

特ニ自衛團、保安隊ニ對シ固定間ノミナラス、機動中ニ於テ進ンチキチ進ンチキチトシム

二、軍隊自ラ密偵ヲ派遣ス

此ノ事駐屯部隊ニ於テ適切ナル密偵ヲ得テ始メテ出來ルコトニシテ當然若干時日ヲ經過シテ土地住民ニ慣タル後ニアラサレハ不可能ナリ

尚前序部隊ヨリ申送り各方面ヨリ通報連絡セラル、諸情報ヨリテ終始管办、匪狀ヲ明ニシ其ノ結果ニ於テ匪賊ノ出没及移動ヲ常ニ事前ニ豫察シ得ルニ至ラサルヘカラス、豫察能力ナラシテ、只昨日或ハ一昨日其地ニアリトノ報告ヲ得テ之ニ向ツテ攻撃スルモ

我部隊、討伐行動開始直後既ニ彼ハ其地ヲ去リテ行方ヲ眩シ討伐ハ空ヲ衝クニ遇
キサルヘシ

凡ソ吾人ノ戦術ハ將來ニ於ケル状況ノ達觀ニ依リテ現在ノ敵状ニ對スル決心處置スルニ
慣レアルヲ以テ萬事一手遲トナシ對支那軍戰術ニ對シテ常ニ事前豫察
ニ依リテ準備ヲ先手ニ處置所要ナリ 此ノ事ハ其ノ土地ノ風聞、噂等ニ依リテモ出来

ルコトニシテ噂ニ依リテ判断ノ根據アルトキハ決シテ後手ニ陥ルコトナク處置ヲ直ニ實施スヘ
キコト多シ此ノ英ニ著意セザルニ常ニ敵ノげりら 戦法ニ身掛ルナリ

彼トハ常ニ行方ヲ眩スニ長ク土民ニ對シテ決シテ行ク先ヲ我軍ニ白状スヘカラスト最
命スル習慣アリ 故ニ此ノ習慣ヲ破ラシムルコト肝要ナリ 現在、如キ土地ノ状態ニテハ足跡ニ
依リテ先判断シ得ル筈ナリ 此ノ如キ匪ノ爾後ノ行動ヲ適切ニ知ルコトノ爲ニ特ニ手段

ヲ講シ警官自衛團土民ヲ訓練スルコト肝要ナリ
此ノ如クセサハ敵匪ヲ追ッテ後ハ我ハ空襲ヲテ五里霧中ニ陥リ 何ヤノスルコトナリ

此ノ時機ガ又敵匪ノ乘セントスル所ナリ
故ニ我ハ討伐機動中ニ於テモ終始敵匪ノ狀況ヲ知り得ル如ク警察機關自衛團

民衆ノカヲ活用シ或時ニ容便ヲ四顧ニ先行セムル等ノ手段ニ依リテ隊カラス敵ノ行軍ニ
追従シテ匪狀ヲ不測ニ明カニスルノ訓練ハ要ナリ

地理ニ通曉

一地圖ノ不完全ナルハ申スニ及ハス此ノ不完全ナル地圖ニ依リテ適切ニ計画的取術行動ヲ
行ハントスルコトハ頗ル困難ニシテ幾多ノ錯誤ヲ生シテ折角ノ討伐ヲ一篲ニ致クニ至ル
ハ當然ナリ

先般天鎖、嶽縣兩方面ヨリ陽原ニ向シテ兩部隊ハ共ニ道ヲ失シテ相當大ナル逆戻リ
ヲ行ヒシ如キハ其ノ事例ナリ

故ニ管內ノ地理ニ関シテハ縣ノ地圖、公安局員ノ説明、其他其ノ地方ノ住民等ニ依リ聴取
シテ諜報的ニ事前ニ地取ヲ中道路、河川、山地ノ狀況、部落ノ狀態、將ニ圍壁ノ種類
構造等討匪ノ準備トシテ必要ナル事項ヲ明カニスルコト肝要ナリ 尚管內ニ於テハ演習
行軍計、伎術、時期ニ於テ實査シテ以テ地圖ヲ補足シ置クコト肝要ナリ

二人情、特ニ風俗、習慣、生業特性、至リ遠各地方又部落ニ就テ豫メ之ヲ知り置クコト
肝要ナル事項ナリ 特ニ官吏、自衛團ノ性質、名望家、其ノ人物、如キハ之ヲ豫メ

知ル時ハ實ニ有利ナリ

三 現在ノ状態ニミナラス四季ノ変化例ハ雨季ニ於ケル河川ノ状態夏季秋季ニ於ケル作物ノ状態冬期ニ於ケル地形ノ変化等ト諸般ノ時期ニ於テ事前ニ之ヲ聞キテ敵ニ優ラストモ劣ラザル作戰準備ヲ事前ニ整備スルコトハ最も重要ナル著意ナリトス

以上如クシテ敵情地理ニ通曉セハハマヤ五里霧中ノ状態ヲ察シテ敵ノ「ゲリ」ヲ戰法ト相對照シテ以テ我ハ隨時適切ニ其ノ戰カヲ使用シ得ルコト明カナリ 況ンヤ民衆ニ對シテ地方官憲ヲ通シテ我ト信頼シ我ト一帯ノ行動ヲ探知至ルヤ彼ノ逆キヲ以テ彼ヲ計テ得ルモノナリ

反之分散移駐ノ時期ニ於テハ我ハ全ク五里霧中ニ在リ民心又我ト一体ナラス從ツテ彼ノ「ゲリ」ヲ戰法ハ容易ニ我ヲ陷レ得ルナリ

訓練精利ノ指揮官優秀ナル先般ノ高橋部隊ノ如キモノニ於テハ五里霧中ニ於テ能ク適時適切ナル指揮ニ依リテ戰カヲ十分ニ發揮シ偉功ヲ奏ス 然ルニ現在ノ我カ初年兵ヲ以ツテシテハ尚輕率ナル行動ニ依リ油断ヲ生スルハ上級指揮官ノ用兵上ノ不考慮ヲ免レズ 各下級幹部以下ノ元氣攻撃精神ハ本敵ノ確信スル所ニシテ之ニ不慮ヲ奏ス

部隊ハ若干都會出身部隊外ハ新シテ不信ナシ

乍併水職ハ今暫ク此元氣ノ糧ヲ徑テ以テ諸戰的状況下ノ今日ニ於テハ輕舉ヲ戒
ントスルモノナリ

幾重ニモ誤解キ様下級幹部以下ニ示スヲ要ス

遊撃戰術ト何ソマニ對スル考察

敵進ハ我退キ敵退ケハ我進ム敵カ怯ハ之カ攪乱ヲ圖ル戰術ト云フ之ハ自國ハ
ニテ地理通曉シ山地ト言ハス耕地ト言ハス機動力優越シ搜索謀報上ノ大ナル優越性ヲ
有スルト云フ点ニ於テ出來得ルトニシテ現在ニ於テ我軍ニ此レ敵ハ之ヲ行ヒ得ル狀況ニ

アリ

然レ共之ハ畢竟正面ヲ正堂ト戰ヒ得サル憶病戰法タルヤ伊セリ我ニシテ常ニ敵ニ
對シ得ルノ實カヲ具有スルニ於テハ當然之ヲ恐ルコトアル筈ナシ即チ約一中隊ノ兵力
ヲ以テ油断ヲ行勤セハ敢テ恐ルニ足ラス

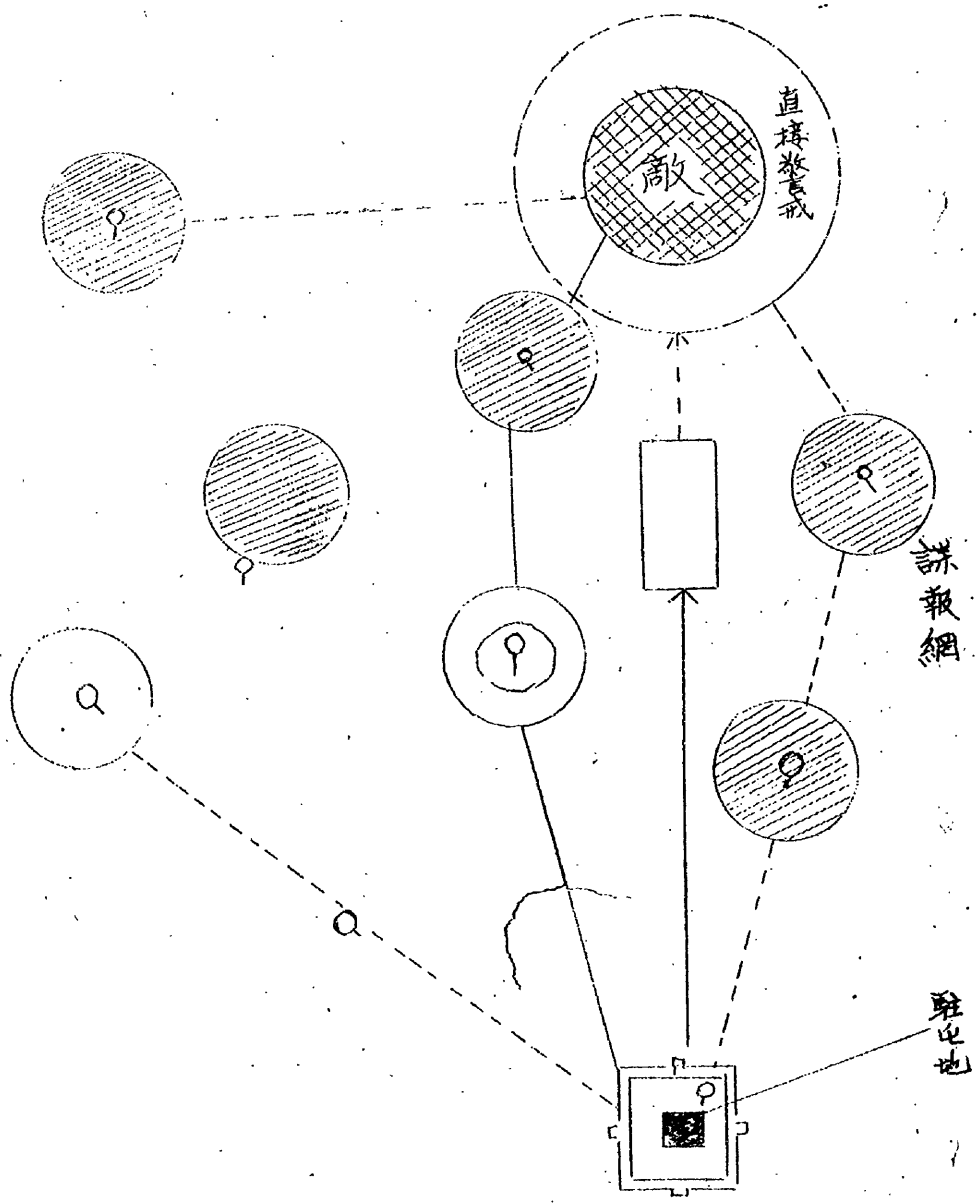
但一中隊ヲ以テ其内地ノ秋季演習ノ如キ警戒力ヲ行勤ヲ行ハシカ必ラス又敵ノ狀
兵等ノ爲ニ大失態ニ陥ルモノト覺悟セサルヘカラス

就中重要ナルハ日本軍隊ハ觸角即チ作候ナク連絡ナク無耳目ニ盲目的ニ行動ス
ル弊アリ之カ一大故障ナリ然レ彼ハ部隊外ニ土民ヲ利用シ或ハ密偵、作候、
監視兵ヲ用ヒテ主力ヲ圍繞シテリ即チ相當ニ禦、如クニ觸針ヲ外部ニ備ヘテリ
故ニ我ハ常ニ不利ニシテ盲カ目ありニ繼承セラルト同様ノ状態ニアリ
特ニ言葉不通ニシテ人民ト一体トナサルカ爲ニ彼ノ利多クシテ我利少シ故ニ公安局
員、保安隊、自衛團ヲ常ニ活用シテ以テ盲カ状態多シテ「目開ク」ノ状態ニ移テ
サルヘカラス

通譯ノキ小隊ノ如キハ實ニ全ク盲ニ同シ今日ニ三年兵等ノ支那語ヲ解シ得ルモノヲ
活用スル外支那語ヲ十分ニ教育シテ小隊ト雖モ情報或ハ土民ノ使用等ハ敢テ支障
ナキ様ニ速ニ小隊長自ラ少クモ筆談ニヨリテ土民等ヨリ情報ヲ蒐集シ得ルノ力
ヲ存セサルヘカラス

0274

敵匪ハ直接敵意ヲ示スラス密偵網ト人謀報網ヲ設ケテ常ニ我ト不離ノ状
態ニアリ



0275

此ノ密偵網ハ土人謀報網ヲ如何ニ破壊ヲスヘキヤニ關シテハ特ニ研究ヲ要ス
土人謀報網ハ之ヲ自衛團及警察機關ヲ以テ民心ヲ收攬シテ北背信行爲
ヲ嚴ニ取締ラシムルコトニヨリテ相當ノ效アルヘキ筈ナリ此ノ真ハ滿洲ヨリモ
余程有利ナリト思ハル

次ニハ密偵網ハ之ヲ好幾ニ嚴重ニ肅清作業或ハ疑ハシキモノヲ捕獲審
檢シテ以テ之ヲ駐屯地附近ノモノハ之ヲ打破スルコトニ努メサルヘカラス

此ノ點ニ關シテハ我カ歩哨巡察行候ニ對シ如何ナルモノカ密偵ナルヤヲ觀別ス
ルノ方法ヲ教育セサルヘカラス

現在ノ狀況ニテハ歩哨ハ單ニ目明キニシテ盲目モ同様ナリ

監視ノ着眼ヲ一々事例ニヨリテ教育セサルヘカラス

又公安局員自衛團ハ相當之ニ慣レアルヘキモ恐レテ其ノ任ヲ達成セサル

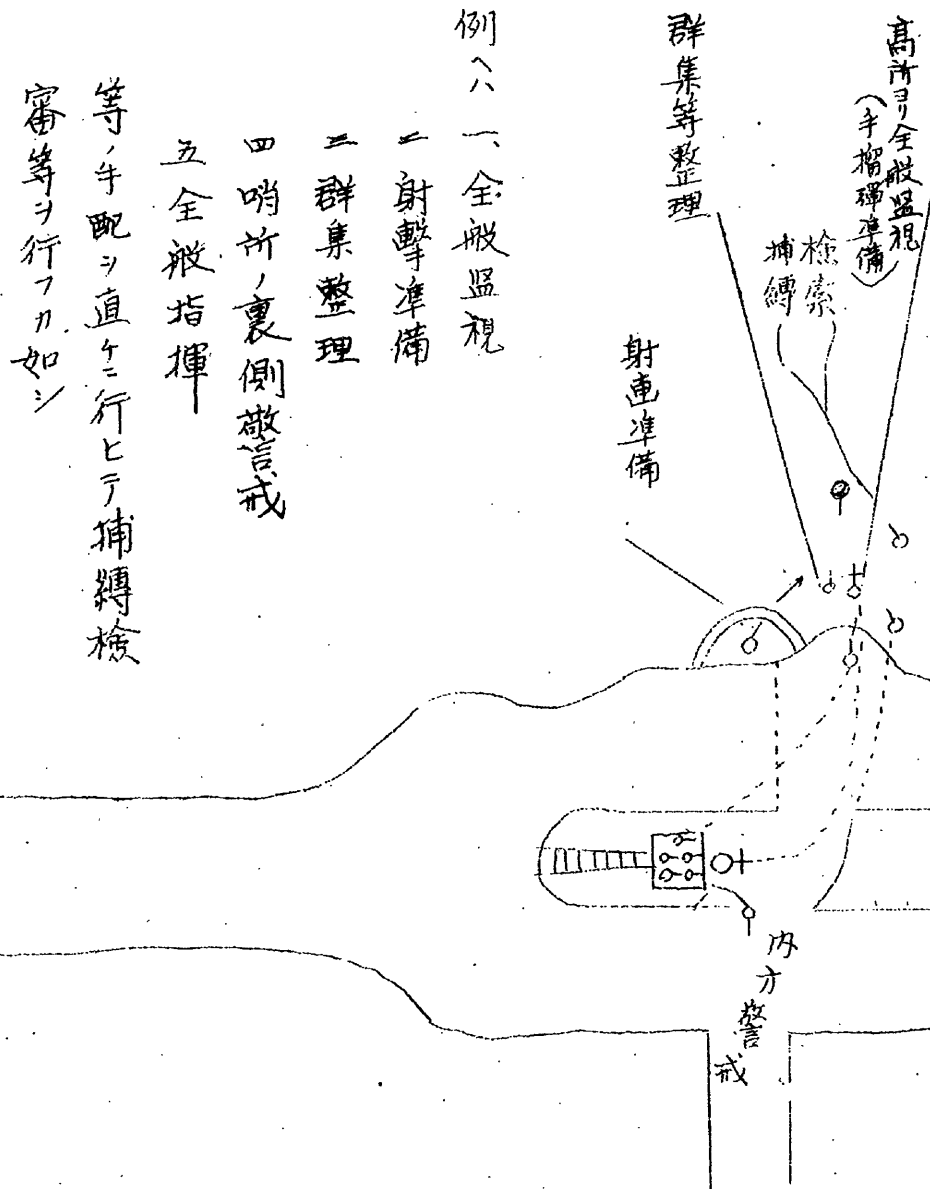
コトアルヘキカ故ニ此ノ真ニ關シテ勵行ヲ要求シ又之ヲ觀破捕獲セルモノニ對
シテハ相當ノ賞與ヲ與フルコト肝要ナリ

捕獲ニ關シテハ十分ニ兵力援助ヲ與フルヲ要ス從來往々ニシテ不用意ニ怪
シムモノヲ捕獲セントシ歩哨カ實ニ不覺ナル失策ニ爲セル例甚々多ク

例義

土民ニ慣ヒテ心安クナリタル際ニ何か物ヲ與フル様ニ裝ヒ来リ歩哨カ氣ヲ許シテ
油断スル隙ニ拳銃 鎌 棒等ニテ殺傷スルト云フ例ハ非常ニ多ク
又捕獲セント一ニ名カ争フ間ニ附近ニ隠レ又ハ土民 中ニ混シマル敵ノ爲ニ
全ク不意ヲ打タルト云フ事件甚ク少カラス
歩哨如キハ此ノ如キ場合ニ自ラ處理セス下士哨長ニ速報シテ其ノ全負ニテ
十分油断ナキ配備ヲ以テ捕フルコト肝要ナリ

0277



例八一 全般監視

一 射撃準備

二 群集整理

四 哨所裏側警戒

五 全般指揮

等ノ手配ヲ直ニ行ヒテ捕縛檢
 査等ヲ行フカ如シ

一般ニ前哨勤務衛戍勤務ニ於テ歩哨カ罪状ヲ直々ニ下士哨(小哨)ニ報告
シ下士哨(小哨)ハ直々ニ之ヲ救援シ全カヲ手配シテ適切ニ處置スルト云フ
コトハ甚タ行ハレス

歩哨ハ報告セスシテ自ラ獨斷ニ處置セントシ下士哨ハ直々ニ輕ク歩哨ヲ
救援スルト云フ風ヲ欠キアリ 之カ大ナル失敗ノ基ナリ 特ニ歩哨等カ夜間
ニ於テ下士哨ヲ呼ビ下士哨全負即時救援ト云フコトハ最モ肝要ナリ
將校ノ巡察官ニ於テモ此ノ種着眼ヲ以テ状況ヲ示シテ適切ニ指導ニ教
育スルモノハ稀ナリ之レ最モ不可ナリ

戰場ニ於テハ假リニ之カ大ナル事ニアラストモ後方ノ指揮官ヲ何等カノ異変
アル毎ニ就寢中ナリトモ遠慮ナク起スハ當然ノ事ナリ 然ルニ平時状況ニ於
テハ此様ニ上官ヨリ糸ハスハ甚タ面目ナシトスルカ或ハ上官カ憶病者タカ
ラ何度モ起シテ困ル顔スルトカ或ハ「うるさがる」点ヨリシテ指揮官ヲ夜中起
スコトヲ「おつくうがる」癖アル部隊多シ之カ以テ外ナリ

特ニ各分屯中隊ノ夜間警備小隊ノ如キハ真ニ即刻第一線ノ警報ニ對シ機
敏ニ處置スルノ良習ヲ附シ置クヲ要ス 之カ爲ニハ中隊長ハ夜巡等ニ

0279

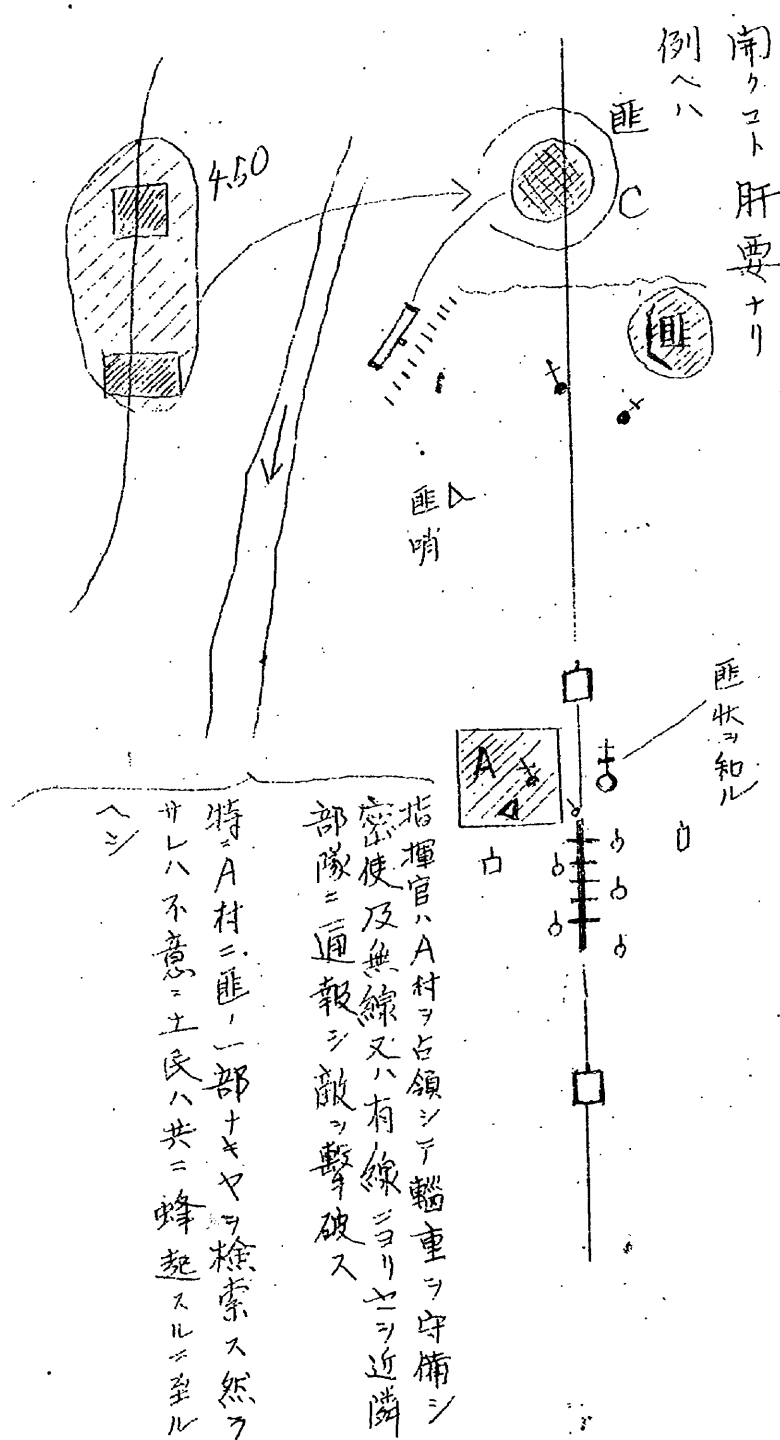
際シ状況ヲ與ヘテ演練シ置クダケノ熱誠ナカルヘカラス此クシテ始メテ不覺
ナキヲ得ルナリ

尚部落内ニ在リ共産黨員ノ密偵等ヲ檢出スルコトハ村長古茂或ハ役場
員子供等ニ對シ他村員或ハ外來員ヲ檢出セシメ又尖シテ人前ニ於テスル良
法トセサルモ已ムヲ得サレハ村民ヲ全部集ラシメ或ハ狩リ出シ此ノ中ニ於テ感
カヲ以テ之等ノ者ヲシテ他村人ヲ指摘セシムルコトモ亦必要ナリ

此ノ如キ方法ヲ公安局員保安隊自衛團ヲ利用シテ漸次講セム彼ノ
謀報密偵網ハ破壊スルコト幾分タリトモ效アルモノナリ

先般北京内ニ於テ某旅館ニ泊リ合セタル無線技師カ支那人ノ怪無線
電波ヲ探知シ私カニ準備シテ一舉ニ檢挙シ關係人員ヲ悉ク逮捕
セシ例アリ無線ノ如キキ同一城内ニ持込込メルモノスラチキヤト考慮ヲ拂フ
ノ要アリトス

二 騎重砲兵等ノ襲撃ニ對シテハ必ラス防護衛隊ヲ設ケサルヘカラス然モ其ノ
防護衛隊ハ必ラス直接防護衛隊ト警戒隊トニ区分シ特ニ警官自衛
團ヲ併ヒテ敵匪ヲ搜索シ予メ状況ヲ予知シテ對應ノ準備ヲ爲シテ行



動 驚ク 萬一 伏兵 等アルトキハ之ヲ 突破スヘキカ 或ハ 事前ニ 某部落ヲ 占據
 シテ之ニ 輜重ヲ 收容シテ 一部ヲ以テ 守護衛シ 主力ヲ以テ 敵ヲ 撃破スルカ 或ハ
 全貫部落ヲ 占領シテ 防衛シ 急ヲ 附近部隊ニ 通報シテ 以テ 自ら 過早ニ 敵
 好餌ヲ ラサル如クニ 處置シ 却ツテ 此ノ 機ニ 敵ヲ 撃破スルカ 或ハ 然ラサルモ
 南クコト 肝要ナリ
 例ヘハ

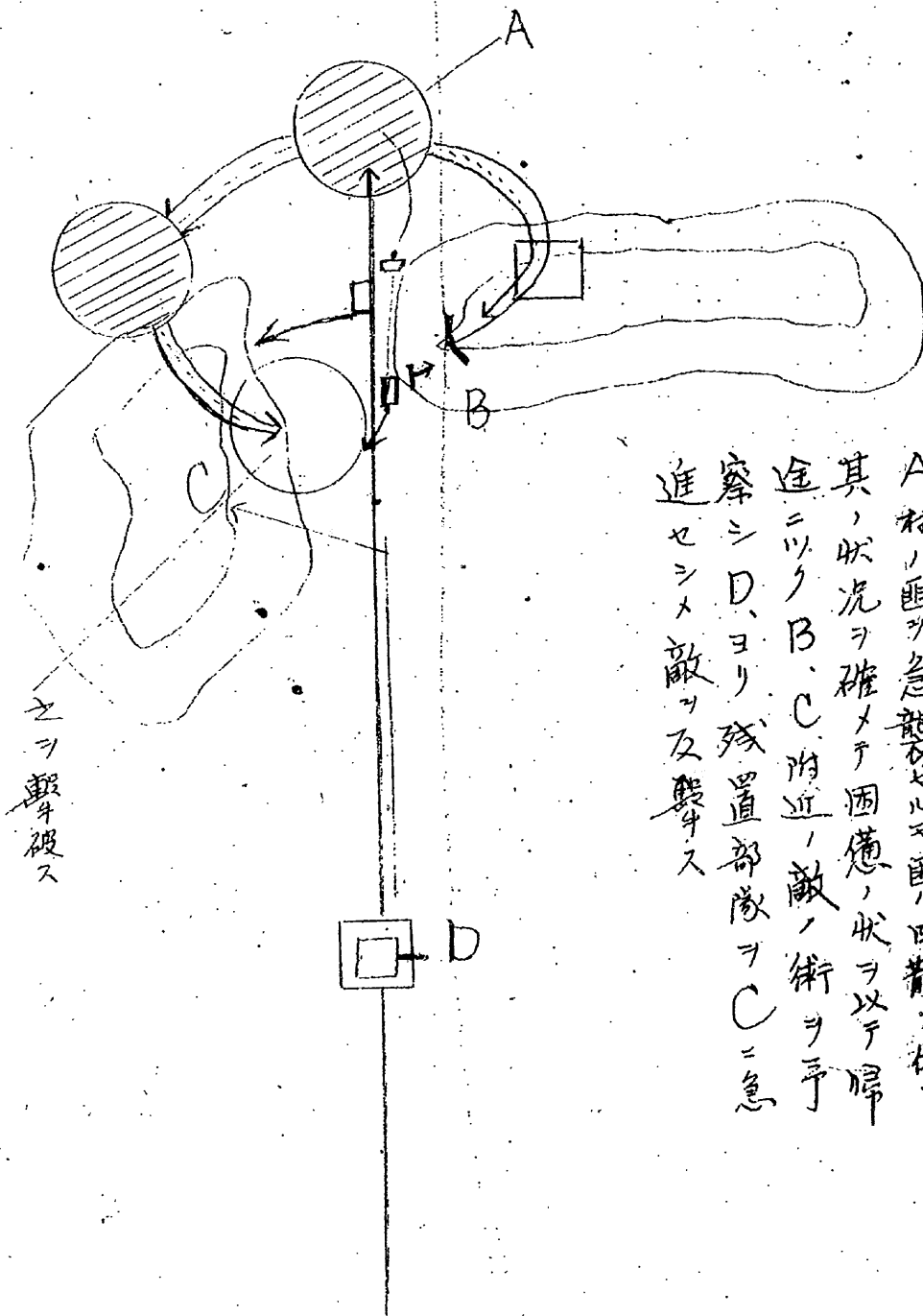
指揮官ハ A村ヲ 占領シテ 輜重ヲ 守備シ
 密使及無線又ハ 有線ヨリ ヲリヤ 近隣
 部隊ニ 通報シ 敵ヲ 撃破ス
 特ニ A村ニ 匪ノ 一部ナキヤ ママ 搜索ス 然ラ
 サレハ 不意ニ 土民ハ 共ニ 蜂起スルニ 至ル
 ヘシ

包圍セル匪カ脱出シテ更ニ附近ノ要莫ニ安ヲ眩マシテ移ルト云フ動作ニ
對シテハ我レハ保安隊自衛團ニシテ土民ト一體トナリテ先手ニ搜索網ヲ
作り置ケハ必ラス又敵ノ隱レ場所ヲ機ヲ逸セス確知シ得ヘクセヨ更ニ追
穴窮シテ敵ヲシテ慙ヒ又新配備ニ移リ得サラシメルカ更ニ附近ノ部隊ニ通
報シテセヨ我網ニカケ比隣協同シテ擊破シ得ルモノナリ此ノ我移動謀報網
ノ敏活ナル成果ヲ得ル爲ノ訓練カ最モ肝要ナリ

我軍後退ニ際シテ匪ノ急進ニ對シテハ之ヲ逆用シテ我レ待ケ依セヨ行フコトニ
ヨリテ敵ヲ及擊キシ得ヘシ
時ニ疲労困憊ヲ裝ヘル一部ヲ餌トシテ敵ヲ誘致シ不意ニ主力ヲ好位
置ニ展開シテ擊滅スルコトヲ考ヘ置道カサルヘカラス

左圖ノ如キモ亦比隣部隊カ後退スル友軍ノゲリヲ戰法ノ裏ヲ搔ク
一倒トス

0282



A 村ノ匪ヲ急襲セシメテ匪ハ四散ス依テ
 其ノ状況ヲ確メテ困惑ノ状ヲ以テ帰
 途ニツク B、C 附近ノ敵ノ術ヲ予
 察シ D、ヨリ 残置部隊ヲ Cニ急
 進セシメ 敵ヲ及 撃テス

之ヲ撃破ス

四、化整爲虛——分散戰術ニ就テ考察

此戰法ノ絶對要件

一、現地上叢山、遠慮アルコト

二、民衆ノ熱烈ナル同情ト擁護アルコト

此ノ一、現地ノ研究、審査、進歩、我亦之ヲ知ルヲ得何處テ彼レカ、包圍ヨリ分散ニ移リ、何處ニ集ルカヲ知ルコト不可能ニアラス、圖上ニ於テモ判断シ得ル所少カラス、況ニヤ、匪狀、調査、進歩ニ於テヲヤ

二ハ我ニシテ、軍官民一體化ニ更ニ實効ヲ擧グルニ至ルハ、敵ハ却ツテ其ノ退イテ、越ヒ新配備ニ就カントスルニ際シテ之ヲ我ノ先手ニ襲撃シ得ルナリ

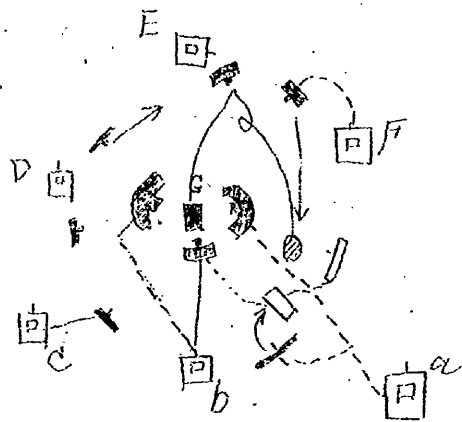
我包圍突破ニ對シテハ、我ハ十分ニ研究訓練ヲ要ス

彼レハ包圍者ノ手薄キ線ニ對シテ、突撃的突破ヲ行ヒ、瞬ニ突キ抜ケコトアリト言フ

又土民ヲ又對方向ニ駆リ出シシ之ニ引ツケテ居ル間ニ他、正面ヲ突破スルコトモ少カラスト言フ

而シテ彼レ突破スルヤ、必ラス其安全地、貞邊、進行シテ息ヲクク、通常トス、我カ比隣部隊ニシテ之ヲ此ノ好機ニ突キ得ルトキハ、蓋偉功アルヘシ

一例



bハGヲ討伐スルニ協力ス

Gノ匪ハE F中間地区ニ脱出セントシE Fハ之ヲ待

チ依セシテ撃ツ

G匪ハF a b方向ニ逃クニa b協力待チ伏セテ

Fノ進撃隊ニ相俟ツテ討ツ此種ノ討伐スルトキ

他匪カ必ラス我軍ニ乘セントスルヲ以テ討伐隊

ノ留守ニ特ニ注意ヲ要ス

脱出路ハ駄馬ト雖隨介險山ヲ驅ケテ遁走スルト言フ待チ伏セ部隊及比隣協力部隊ハ此

如キ敵匪ノ退路ヲ予知シ豫メ待チ伏セスルカ或ハ他ニ位置シ急轉之ニ迫ルトキハ意外ノ好果

ヲ得ルコトナルヘシ

此ノ脱出目標ヲ欺騙スルニ對シテ豫メ我ハ覺悟シテ官民ノ諜報組織ヲ正確ニ適時適切ニ

行ヒ以テ彼ノ意表ニ出ツルコトヲ要ナリ

0285

我敵根柢地ノ衝キ其ノ空ナリト歎クハ之ニ復モ亦不_レ能ク大ニ整_レ成_レルヲ
要ス 特_ニ 部族ヲ掃蕩シ民ヲ檢束ト_レ成_レヒ一家ヲ押_レ以_テ 虜_レ置_ク
兵_ヲ 親_レ 外_ノ 部_ヲ 如_レ 或_ト 主_カ 如_レ 是_ノ 物_ノ 備_ノ 状_態 二_リ ア_リ 母_リ ヲ 堅_ク 敵
ヲ 待_テ 敵_ノ 至_ス 離_レ 止_テ 待_テ 攻_ム 敵_ヲ 破_ス

但_レ 此_ノ 部_ヲ 掃_テ 去_ル 力_ニ 比_レ 暇_ナ ル_ト 夫_レ 猶_モ 家_屋 又_ハ 宿_舎 天_ノ 地_ノ 陣
地_ヲ 設_ケ テ 兵_ヲ 留_メ 置_ク 斯_レ 之_ニ 匪_徒 果_シ 色_々 術_策 ヲ 用_メ 研_究 後
之_レ 為_ニ 急_ニ 之_ヲ 祭_具 封_シ 得_サ ル_ト 亦_ナ カ_ラ サ_レ ン_ト モ_ニ 一_ト ン

奈_翁 ト 同_理 隔_リ 島_ケ ト_ハ ナ_リ 晝_支 仰_部 掃_テ 短_村 間_ニ 掃_テ 掃_テ
ト_テ 宿_ち 如_レ 掃_テ 去_ル 力_ニ 比_レ 困_難 二_リ 夫_レ 内_部 蜂_起 ス_ト 亦_ナ 憤_然 也_セ ナ
ル_ハ カ_ラ サ_レ ン_ト ナ_リ

陣_ノ 部_隊 如_レ 出_テ 討_陣 二_ニ 功_ヲ 奏_テ 倭_陣 若_テ 油_町 乘_テ 敵_匪 二_ハ
城_内 夜_襲 来_リ 大_損 傷_ヲ 受_ケ ン_ト 亦_ナ 例_ナ 二_リ 特_ニ 是_ノ 肝_腎 等_ナ リ
但_レ 此_ノ 夜_襲 時_ハ 土_民 間_ニ 傳_リ ト_モ 敵_匪 尚_ホ 土_守 屋_ノ 隔_リ 二_レ 母_心
ト_ア ン_ト 一_等 城_ノ 出_ル 之_ニ 復_入 ト_テ 本_部 ヲ 襲_ム ト_テ カ_キ 母_心 ナ_リ
行_動 ヲ 下_リ ト_ス 特_ニ 密_偵 ト_テ 使_申 セ_シ モ_ノ カ_キ 母_心 等_ヲ 案_内

ヤト事例ナリ

結論トシテ述フルケル見ルニ「朝鮮隊」必ズ現地ノ敵状地形ヲ察スルハ決シテ今ノ肉體
戦キ充カテ先見シヨル上ニ於テ方策ヲ決定スヘキヲアルト述ヘリ此ノ方策
決定ノ為ニ彼レハ特ニ軍事ヲ行サ去ヘアル時ノ外ハ若干時間ノ全流アリ此
ノ向ノ準備工作間ニ於テ土民ノ噂ヲ生スルナリ此ノ噂ハ直偽一ルモ民心
我ニ帰スレバ我レニ備アル全流ナキハ稀ナリ

軍ニシテ油断ガ種々あり而シテ代心我ニ帰レ通匪ヲ以テ其ノ察察隊
自衛團ヲ我カ意ノセリ作爲セシメ得ハ更ニ之カ逆手ヲ用フルコト難トキ
特ニ我地形ヲ知り彼レノ戦法ヲ知ルハ必ズヤ終ニ逆手ニ彼レヲ欺クヲ得ナリ

0287

五、心零爲董——集中戰術

此戰法ハ匪賊特ニ共產黨ハ分散シテ政治工作ヲ行ヒ何カ弱兵ヲ発見スルヤ一舉ニ集中シテ之ヲ撃ツトス

其弱兵ト言フハ 例ハ先般

陽原ヲ襲フカ如キ行動ヲ爲シ

珠鹿——下花園道ヲ襲ヒ

全般ニ於テ支那大ノ特性トシテ冒險的ニ其ノ時ノ状況ニ應ジテテキゾリトスルコトハ行ハス
最良ノ手段方法ヲ選ビ一人モ失ハスニテ敵ヲ討ツトスルノ風アリ故ニ準備研究至レリ盡セルモノ
ナリ而シテ一カノ企圖ヲ行ハントスルヤ幾ニ次ノ手續ノ事ヲ豫メ研究シテ策ヲ定メテ予配ヲ爲スコトヲ
通常トス

例ハ

陽原城ヲ攻圍シテ以テ實際ハ心ヲメキモカ攻セズニアラス陽攻セルニ過キ入此ノ間地方ニ蟠居シテ

程ヲ求メ兵ヲ養ヒ居ルナリ

此ノミテ其ノ實際ハ我救援隊ニ對シテハ何カ弱兵ヲ見テ之ヲ待テ伏セ居ルナリ然ルニ高橋部隊

ノ適切ナル行動ニヨリテ敵ハ陽原城包圍ヲ解キテ又轉ニ起攻撃セル至近ノ距離ノ決戦時
於テ一方我々突敵戦法ト城内ヨリスル出撃トニヨリテ不意ヲ討クニメテ大ナル損傷ヲ蒙リテ敗退セ
ルナリ

然ルニ高橋隊ノ帰還ニ及ヒ再ヒ陽攻ヲ圖性セリ實際ニ於テ陽攻ニ過キザリナリ之ヲ急
襲シタラシハ彼レハ一撃ニ其企圖ヲ去ルコトヲ得セシメタルモノナリ又此ク近ク敵匪カ生
意氣ニ来ルトキコソ急襲作戦ニ最モ適スルモノナリ平素ヨリ此ノ爲メ戦法留守ノ準備法ヲ
十分ニ研究シ演練ヲ加ヘ置クヘキナリ

此ノ事無カリシ爲ニ彼レハ益陽攻ヲ装ヒテ兵カヲ平地ニ集メタルカ我々カノ出動救援ヲ知リテ
彼レハ所謂「けり」戦法ニヨリテ合流シテ東南方及東北方ニ退避シ旋回シテ永定河北岸ヲ襲
ヒツ、西北進シテ生意氣ニモ虚ニ来ニテ張家口附近萬全方面迄モ夫々敵ノ研究セル所ヲ
虚ヲ衝ク戦法ニ出テ鐵道沿線ニ大騷キヲ生セシメタリ之カ即チ「化零爲整」ノ戦法ノ通り
行ハシタルナリ

管内交通ニシテ一層便ニシテ我々ニ段ノ機動力アリ情報網一段ト敏活ニ利用スルヲ得ハ此
際更ニ遊動中ノ敵匪群ノ集ルルヲ追ヒつめて潰滅シ得ルコトハ難キニアラサルモ現下ノ状

況ハ我レ五里霧中ナルヲ以テ其ク行ヒ得サリシナリ

例ハ彼レカ西河營一徒極營ニ出テタル時ニ急ニ陽原ヨリ兵ヲ返シテ蔚縣方面ノ部

隊ヲ南下セシメテ狹擊スルモ一葉ナリ(實際淺川部隊ノ一部ハ敵匪ノ一部ト衝突シ之ヲ

擊退セリ此際ニ於テ其主カハ我一部ニ全カヲ以テ未レ得サリシハ彼レノ計畫一葉以外ニ行動トナトナシ

又堤部隊ヲ西南進シテ永定河ヲ越エテ進メ宣化ヨリ成澤部隊ノ主カヲ以テ露處方面ヨリ進

ラシメ主カヲ以テ化病營方面ヨリ盤山方面入り之ヲ山地ニ壓迫スルコトハ出来ザルニテ然レ

閉庄部隊ヲ以テ鐵道沿線以南ノ警備ヲ嚴シテ東西何レモ急襲正ノ準備ヲ整ヘテ神速

ニ敵匪ノ留守ヲ覘ヘルモノヲ擊ツ如クセリ相當ノ成果ヲ得ル筈ナリシナリ

彼レ上匪ハ近來未化工作ニヨリテ統一指令ニ基キテ合流化セリ春季ハ彼等合流シテ横行

スルノ好季ナリ此ノ時機ト相俟ケテ彼等ハ分散シアルモ統一シテ我レ一ガヲ衝ケハ彼レ或ハ全カ

合流運動シテ依然トシテ虛ヲ覘ヒ虎視耽々トシテ其ノ剽掠メントスルモノナリ今

回出動ノ際於ケル匪ノ移動ヲ見レハハ必零爲整ヒノ集中戰術ナルモノヲ十分ニ知り得ルコ

トナリ

之ニ對シテ我軍ハ主カヲ以テ徒ラニ長期一ガニ突進シテ兵ヲ動カサレハ彼レハ必スヤ虛即チ

背後ヲ攪亂シ来ルヘク此際留守ノ部隊ハ諜報網ヲ督勵シテ敵匪ノ現出ヲ待テ進ニテ之ヲ急襲スルノ方式ヲ探リ得タルヘカラス 否ラサレハ今回同様ニ却リテ敵匪ノ擾亂ニ無爲ニ終ルニ至ルモノナリ

要スルニ敵ノ裏手ヲ搔カントスレハ必スヤ諜報網交通通信ヲ整備シ軍隊ハ偉大ナル機動カヲ有セサルヘカラス 機械カノミナラス 軍隊自ラノ行軍力指揮ト應スル活動能力ノ極度ノ發揮必要ナリ

彼ノ琢磨——下花園道ノ夫敗ノ如キ敵匪ハ前ヨリ同要點ニ對シ準備工作ヲ行ヒ居タルハ明カナリト言フ 若シ然ルトキハ彼トニ對シ不敗ノ威カラ以テ是ヲ壓倒シ置リハ必ラスヤ此ノ如キ 術ニハカ、ラサリシナリ

要スルニ彼レヲ侮リテ日本軍ナレハ十名モ居レハ敵ハ二百十三百何事カアラント言フハ下士官以下ノ意氣込ミトシテ實際左ニアラサルヘカラス乍併將校トシテハ此クノ如キヲ待ツ有ルヲ恃ムニ及シ何等敵匪ノ術策ニ對抗スヘキ合理的手段ヲ講セスミテ空威張リヲ爲スハ極メテ不可ナリ 之カ今春ニ三月ノ頃ト今日ト全ク情勢ヲ異ニシ吾レハ實際合理的ノ實カラ以テ敵ノ戦法ニ對シテ決シテ敗ケス必勝ノ考案ト施設トヲ速ニ完備

0291

スハ切實ナル必要ヲ求メ居ルコトヲ痛感セサルヘカラス

司令本部前、哨舎ノ如キ手榴彈攻撃ニ對シテ何ノ價値アリヤ飛行場ニ夜間ニ臺モ飛行機アリ之ニ對スル防護施設警備ノ爲、計畫準備ハ何ノ價値アリヤ全ク敵ヲ馬

鹿ニシテ居ルカ爲ニ全ク敵ノ爲ニ致サレテ常ニ受働ニ陥リ「たぬめん」結果トナリ居ルナリ各停車場警備兵ノ防禦施設ノ如キモ亦然リ凡ソ少數兵カヲ以テ敵ノ「化

零」爲整「急襲鐵賊」ニ對スルニハ必ラスヤ確乎タル施設ヲ行ヒテ兵カノ宥ヲ補ヒ少クモ守兵掩護物カ敵ニ食ハレサル丈ケ事ハ爲サルヘカラス

此ノ事ヲ合理的ニ行フ教育ヲ爲サス施設ヲ爲サシテ徒ラニ敵ノ術中ニ陥リ急襲ヲ蒙ルカ如キハ全ク相濟マヌコトナリ此ノ臭カ滿洲匪賊ト當地方赤化匪指導

機關ヲ有スル匪賊トハ趣ヲ異ニスル所ナリ只我ト乘スヘキハ土民カ嚙ヲ爲シ又地方警察院ニ於テ事前ニ之ヲ我耳ニ入ル、如ク努メツ、アル所ヲ我トハ無油

断滂ヲ惜マス實行スルコト肝要ナリ

此ク先手ノ一行ハハ戦ハ我レノ勝ナリ特ニ敵匪カ襲ヘル間ニ之ヲ撃ツハ誠ニ便利ナル時機ニシテ復依リヌク逸スルモ我レハ十分ニ人民ノ信賴ヲ博シ得ルナリ。

第六「旋磨打圍」 旋回戰術、裏手

鳥ト犬トノ戯レノ如キ戰法ナリ此ノ如キ戰法、根本ハ我五
里霧中ニアルカ爲ニ彼レ乘スルモノニシテ我ニシテ耳目ヲ活用
シ敵軍ヲ嚴ニシ特ニ地理ヲ知り匪状ヲ明カシ民心ヲ
我ニ收メ居ラム彼ノ乘スルノ暇アリ寧ニ現下訓練十分
ナラス我ヲ恐レアル匪ニ對シテ我ノ機動力ト戦斗技能
ヲ向上スル彼レハ之ヲ用ヒントシテ彼レ却テ我ニ致サルヘキナリ

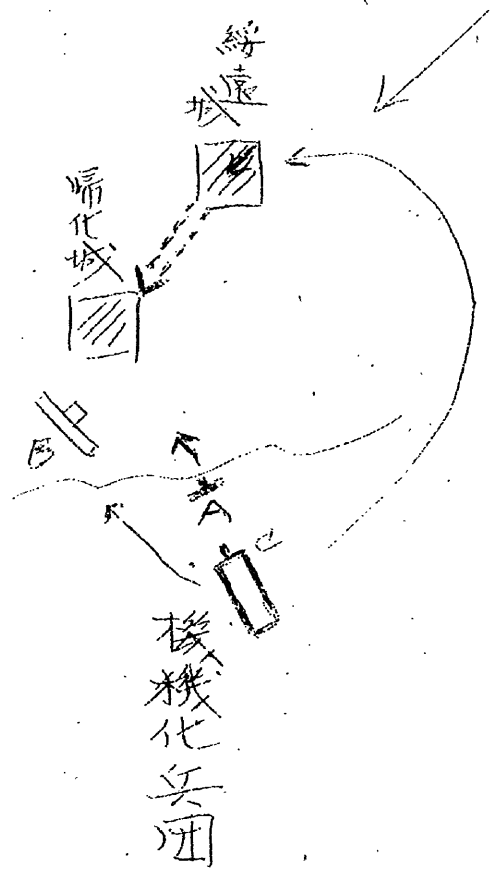
第七「聲東擊西」 假攻戰術、裏手

此ノ戰法ハ綏遠城攻撃等ニ機械兵団カ活用シラル方式ニシテ
我軍小部隊ニ種戰法ヲ活用スヘシ

0293

當初ニ於テAノ前衛ヨリ先陽攻シ更ニCノ重カヨリ一部ヲ
 B方面ニ廻メテ綏遠城ノ敵ヲ歸化城ニ誘致牽制シ主カヲ
 私カニ準備拂曉綏遠城ヲ籠テ難ク之ヲ奪取シ其
 ノ勢ニ兩城ヲ奪取セリ

此ノ戦法ハ彼ノ好シテ行フ所ナリ特ニ小部隊ニ於テ然



0294

吾人ハ常ニ前ニ事起ル直クニ左右後方背後ヲ見ルハ

シ右ニ声ヲ聽ケル直ニ後方ニ注意ヲ拔ルヘカラス

彼レハ餌ヤ虚夢ヲ発シテ主カラ以テ我弱點ニ向フ之レ孫

子以来ノ詭首ニシテ彼レカ特意トスル所ナリ

故ニ前ヨリ来ルハ一部ヲ以テ先ス觸接セシメ或ハ陽攻セシメ

主カハ私カニ準備シテ後方ニ潛メテ之ニ用ルカ或ハ後方側方

萬全ヲ知ツテ之レヲ前ニ向フベシ之レカ爲ニモ亦候ヲ逸用ス

ル筆肝用ナリ

第八回 突撃手虚ニ就クテ

0295

之ハ戰國時代ニ多ク用ヒタル奇襲戰法ノ通リテアル將ニ敵
將ノ性質敵情地理民情ヲ知リ敵ノ如何ニテヤラ
心察シテ判斷ヲ神ノ如クシ其機ニ於テ敵ノ備ヘテヤラ衝
キ休メ之ヲ襲フト云フ法ナリ所謂廣義ノ奇襲戰
法ナリ之ニ對シテハ我ハ警備ヲ嚴シ將校ハ自ラ常ニ我弱點
ヲ知リ之ニ乘スル敵ノ手ヲ知ツテ豫メ對抗方法ヲ考
ヘ置カハ不覺ラ取ルヨリモ却ツテ敵ヲクシテカケ得ヘシ
例ヘハ留守ノ部隊カ縣城ヲ守備スル步哨ノ數多クモ
減シテ敵ニ隙ヲ見ル比クシテ夜間ハ之ヲ倍加シテ伏兵トナ

0296

ナシ敵ノ意表ニ出テ殲滅的火カ手榴彈ヲ以テ之レヲ破ルカ如キフトハ裏手ナリ

裏手ハ之ヲ計畫シ訓練シ置クニ昼間寢キテ夜寝ル常習ヲ爭奪ミテ反對ニ構ヘ居ルト云フカ如キハ廣義ノ例ナリ

第九 麻雀戰術ニ對シテ

之ハ分隊單位ノ分散陸基配置ヲ要スニ伏兵或ニ備ヘテ敵ヲ引カケテボヤリシテ居ル所ヲ各方面ヨリ襲フ方策ナリ

理想的ニ彼カ動ク可ナルモ卑怯モ匪ニテハ大シタフトモナカルヘシ
一突突破スハ此手ヨリ脱シ得ヘシ

掩護隊ノ如キモ一部直接掩護シテ他ヲ以テ四圍攻撃スル勝得
ヘキニ突突破ノ方式ヲ優述ス但シ夫々各方面ノ匪隊ニ對
シ最少限度相手トナル事ハ己ヲ得サルナリ但シ谷地中等
ニテ此手ニ會セバ地形ノ利用不可能ナルニハ隨分損害
ヲ蒙ルマアリト云フ如田隊此際驍勇ヲ講フ故ニ豫メ此ノ
種ノ手ヲ講ズ地形ヲ達觀シ之ニ入ラサルニ先ケ移動
謀報機関ノ候等ヲ以テ潛伏匪伏ヲ知り方法ヲ考ヘ
テ之ヲ驅逐シ通過セバ何ノ事モナカルヘシ特ニ吾等ハ土民
ヨリ此ノ種ノ情報ヲ進ニテ提供セシムル様軍民一体化ト民衆
教育ヲ必要トス

0298

第十 遊撃隊ノ組織系統ニ就テ

我地在外ノ赤匪ト云フモノ、多クハ土匪又ハ敗殘兵ヲ中心トスル不統一ナル匪賊カ赤ノ息吹ヲ掛ケテ今日ヲハ孰トモ赤腕章ヲ用ヒテ第八路軍ノ一部又ハ救國或ハ抗日ヲ標榜セル名ノ許シテ行ヲ逞クシ又峽谷的行爲ヲ爲ス

然レ英中ハ西省共産党直轄ノモノナトセズ即廣靈及蔚縣方面並ニ懷安縣南ガ長城線附近ノ一團ノ如キハ恐ラク一層共産組織化セラレタルモノナルヘシ

土匪、敗殘匪カ赤布ヲ用ルニ至リタルハ即チ赤化工作ノ浸透ニシテ決シテ油断スヘカラス
併ニ匪數ハ二月ヨリ三月、三月ヨリ四月ニ於テ増加ノ徵アリ

特ニ四月ノ始ニ於テ胡錫侯匪ノ如キハ勢力擴大ノ爲ナルカ小土匪ヲ食ヒ養ヒニ係リアリヤ又老犬至匪ノ如キハ未ニ附接シテニ次鬪争セリ話アリ之等ハ共ニ赤色ノ呼吸、及ヒタル一証尤ニシテ陽原陽攻後ノ如キハ一匪群ノ合流化ヲ著シク認ムルニ至レリ

此クシテ大遊撃隊、小遊撃隊ハ既ニ隨時ニ編成シ得ラルニ至リシヤ明ナリ、此上自衛團、保甲隊ノ匪化スルヤ皆マハ大ナル注意事項ニシテ我軍威カヲ以テ赤化匪化防止官民信賴維持ヲ計スルハ或ハ大勢ノ趨ク所勢ニ動カサルニ特性アル國民性ノ鑑ヲ所

0299

相當憂慮ナキ能ハス 然レテ此等遊撃隊ノ戦法ヲ見ルニ概シテ我ニ近キモノハ
從來ノ遺口ヲ以テ匪行ヲ行ヒツアルモ赤色ノ濃厚ナルモ程其ノ遺口ハ一校ノ智謀
的ニテ勇敢ナルヲ認メタルヲ得ス 之レ赤化ト共ニ彼等ノ反ニ指導員政治機關
ノ浸入シアルヲ察セシムルモノナリ

某隊ノ一部其ノ智謀ノ犧牲トナリ六誠ニ毒ナル次第ナリ 吾我ハ此ノ智謀ノ根
本タル赤色戦法ヲ通曉シテ其ノ裏ヲ知ルコトハ特ニ肝要ナルコトナラズ 從來平氣ニテ
通過セシ道モ亦彼等ノ進歩スル智謀的計画的術策ニ食ハルコトナキ様今日ニ
於テ一校油断ナキ遺口ニ改ルニ躊躇スヘカラス

先般涿鹿―下花園道上ノ匪行ノ始キハ自動車ノ機関ニ向ツテ突如機関銃
射撃ヲ加ヘテ其ノ進轉ヲ停止セシメタルカ如キハ余程ノ知慧カ加リタルコトヲ示スモノ
ニシテ此手ヲ覺テタル以上他ニ於テモ皆莫似スルモノヲ生スルモノト認メナレヘカラス

從來ノ我軍ノ警備ノ施設ハ實ニ油断多クシテ小數停車場警備橋梁掩護隊
ノ如キ或ハ堡門ノ警備下土哨ノ如キ實ニ若干ノ土囊工事ミニテ赤匪ノ進歩モ
手榴彈攻撃、壘根北傳ヒノ攻撃、如キ事ハ何等考慮ナララス

0300

此、如キハ大ナル虚勢ニ過キス 鐵條網ト云フモ實ニおどしニ同シ、之ヲハ全ク不可ナリ
宜敷嚴理ヲ卷ミテ萬全ナル如ク小分遺隊ノ如キ不幸ナル場合ニ於ケル救援隊ノ到
着迄持テ耐エ得ル如ク十分ナル工事、防禦施設ナカルヘカラス

彼ノ一例ヲ聞クニ約十名ノ匪群カ一小時ヲ占領シ其ノ四隅ノかほにえろ、式銃眼ヨリ
スル射撃ノ爲ニ激軍ニテ師全カ包圍ニテアラエル 火砲ヲ用ヒテ之ヲ破壊スル迄
數時間、突撃キスルヲ得ス 輕卒ナル攻撃ニ突進セシ勇力士ノ多數ヲ失ヒト云フヲ
思フス

而ズルニ設備ヲ十分ニスルヲ肝要ニシテ此、如キ小はすと、持久 防禦築城ノ如キハ大ニ
研究改善シ實際守兵ヲ之ニ就ケテ如何ニ守ルヘキヤヲ教育レ置カサルヘカラザルナリ
又歩哨ノ展望台又ハ望樓止ヨリ監視スルモカ何等ノ四圍掩護ヲテ衛立ケテ、月見
テモスルカノ如キボトヤリ」シ居リテハ一撃ニ撃ケテ遂ニヤハヒリ 此、如キハ速ニ
設備ヲ加ヘテ掩護ヲ樂ムル如クスヘキヤハヒリ

自動車輸送ノ掩護等、如キハ從來ハ極メテ「のんき」千萬ニシテ鐵帽ヲ被ラヌ又
突然突如ニ襲ハル、コトヲ知ラヌ「表点」ヲ如何ニ通過スヘキヤ警告ヲ戰備要

0301

領を教へ下士官を長とスル無智ニテ隙多ク儘ニ行動セラルカ如キハ實ニ少シ敵

ノ戦法ヲ知ルモノカ教へサルハ上下ニ對シ申譯ナキ怠慢ト云ハサルヘカラス

此ノ如キ事ハ幹部教育トシテ將校ハ勿論下士官兵ニ至ルマテ十分ニ訓練シ置クノ

要アリ此ノ如キ教育ヲ周到トシテ現下中隊長ノ責任ニテ其ノ上官ハ決シテ

放任シ置クヘカラス

自動車一百ハ襲撃ノ好餌ナリニ台ミテモ不可ナリ三四台ハ伏ヲ又伴ハサルヘカラス

モナリ匪狀ノ老練ヲ知リテテ台ノ儘ニテ使用スルカ如キハ誠ニ申譯ナキ話ナリ

夫ニ徒歩部隊ヲ用ヒテ大ナル學力ナキ地域中ノ連絡ナルニ於テヤ

此ノ如キハ命令ヲ起算ミテ副官等ヲ實ニ兼顧着ナルカ根本ニシテ隊長ノ罪固ヨリ

免ルヘカラザルモノナリ下級者ハ恐ロイカラ行クヌトハ日本兵ニハ如何ニシテモ云ヒ

得サルモノナリ之ハ上官カ至當ニ判断シテ已ムヲ得サル場合ノ外無理ヲセシムル

フトアルヘカラス至當ノ火命ト區テノ良習アレハコソ日本兵ハ強キナリ然ルニ輕卒

ト命令ニ於テハ皇軍ノ統帥道ニ及スルヤ伏セリ状況要スルハ水火中ニモ投スヘシ

他製法アリハ敢テ水中ニ投スルノ要ナシ之指揮官ヲ教育スル所以ナリ

右爲念通告ス

以上一例ニ過キス 時上場合ニ應レ彼ノ信セサルヘカサル式ノ謀略ヲ加ヘテ 自ラ離反
相競ノ策ヲ加ヘテ亦一案ナリ

之ヲ要スルニ我レ謀報ヲ機敏精密ニ、民心ヲ我ニ歸長シメ 地政ニ通曉シ事情ヲ明
カニハ、敵ノ組織瘦壞ノ如キハ、休ラズシテ 困難ニアラス

0304

第五 遊撃隊の訓練

不正規軍隊ニテ臨時新徵集者訓練ヲ主トシテ云ヘルカ如シ

元來^如那軍ハ不良分子ナリ之ヲ國士的精神救國精神仁義

精神ヲ吹キ込ミテ立派ナル軍隊の行動ヲ行ハシメゴトスルハ蓋相

當困難ヲ伴フヘク特ニ其補給ハ土地ニ依ルニ土民ニ苦ヲ與フルコトハ

即チ皇軍ニ比シ利ニ於テ土民ノ心ヲ失フコトトナリ大ナル弱矣ナリ

皇軍ハ支拂等ヲ決シテ等閑ニスヘカラス決シテ鬼畜匪行ヲ為スヘ

カラサルノミナラス良民ヲ愛護スルノ實ヲ舉グヘシ彼^クスレハ彼^ク到底我^ク

敵ニアラサルナリ各隊ハ益々聖勅ヲ奉行シ皇軍タルノ真姿ヲ顯現

セサルヘカラス

彼等ノ學術技能訓練ニ於テハ相當侮ルヘカラサルモノアリ我^クレニ油

断アルヘカラサルノミナラス我隊ノ如キハ守時モ惜マス一事ト雖モ苟且ニ附セ

ス常ニ訓練向上ヲ計ラサルヘカラス特ニ幹部ノ戰術能力指揮能力

兵ノ戰斗技能及軍紀振作之ナリ

彼ハ其精神教育ヲ以テ青年ヲ以テ決死隊的勇士ヲシメルニ至レル
モノアリト云フニ於テハ決シテ油断アルヘカラス此ノ美ハ我カ爾決シテ恐ル
モノニアラサルモ式ハ益々強化スルニ必要アリ
特ニ都會育ヲ或ハ平時式教育ヲ受ケタル羸弱ナル幹部及兵ニ對
シテハ此際徹底的ニ時局ニ適合スル如ク剛健果斷忠勇義
烈ニ仕込マサルヘカラス

六

0306

第十二遊撃隊ノ軍紀

別ニ申述フヘキ本カレ下併今田共匪群ハ相當嚴重ナル軍紀ヲ母ラン
メツ、アレク如ク又土匪群我カ俠客、親分子分的ノ軍紀ニ鏡正セラレ
アルコトヲ思ハガルヘカラス

若夫レ抗日ノ徹底セル教育ヲ受ケタル青年ニ盛リテハ驚クキ熱烈ナル
精神上軍紀ヲ有シ決死殉國ノ気分アルコトヲ忘ルヘカラス

第十三遊撃隊ノ糧食

我地区ノ匪ハ決シテ他ヨリ捕給ヲ受ケルモノニアラス此ノ地区ニ糧ヲ求メテ
俠客的言辭行爲ヲ爲シテ生存セルモノナリ彼ハ富者ヲ脅迫シ或ハ強

奪シテ金玉ヲ奪ツテ貧民ト爲シテ養育ヲ受ケルモノナリ

反セシムルコトハ自然ナリ

只彼等カ美辭ノ偽辭ヲ用ヒテ愚民ヲ威カテ以テ脅嚇シタルコトヲ思ハ

サルヘカラス地主ト小作人トノ關係ハ當地ニ於テモ青年層ニ隨分ト爭鬪

關係ニアリ故ニ貧民ハ善政ナルカ、如ク考フル、理アリ
但シ我地区ニハ從來相當ニ住民ヨ苦シムタル關係アルヲ以テ此、如キ共匪、
ニハ住民ハ東リ易イコトアルヲ思ヒ赤化地帯ニ對シテハ特ニ皇軍、眞安
顯現ト政治機關、宜應宣傳工作必要トス

第十四 遊撃部隊、活動区域ニ對シテ

活動區域、限定セラルル爲ニ後等、土地ニ慣熟シ利用スル人民ト
近接シ得ル、利アリテ併之カ爲ニ之ヲ我カニテ追廻ストモ鬼、如ク
巢ニ歸リ來ル此、如ク一地域ヨ追拂ヒテ決シテ入ルガ如クスルガトハ彼
等々仲間割リスリコトナリ
之レカ又我、棄スヘキ點ナリトス

我レ分散配置セハ不斷ニ戦力強化地理調査住民接觸、活動ヲ
爲スコトニコリテ彼活動地域ニ荒レ廻ルト同様、結果トナル從ツテ彼ハ他
地區ニ活動セントス

彼他地域時テ北背後ニ入り込ムヤ直ニ之ヲ擊破スル彼ト入り込ム得
サルコト、ナル此、我ハ完全勢力地帯即チ張家口附近、如キニ入り込ム
モ、ハ仕ラスヤ徹底的ニ追出サレルヘラス

遊撃隊ノ任務ニ就テ

一之ヲ讀ムハ如何ナル任務ヲ有シ如何ナル手段ヲ以テ如何ナル順序ニ
如何ナル目的ヲ以テ攻勢ヲ轉スルヤ知ルヲ得ルナリ

之ヲ讀ムコトナクシテ徒ラニ「日本軍ノ威力」ニナル考ヘテ居リ對應手
段ヲ講セザレハ彼ハ好餌タルコトヲ濫見悟セザルヘカラス

二彼ハ某目的ヲ立テ智慧ヲ絞リテ軍議ヲ開キテ後實行ニ移ル故ニ
大風下ノ我軍、欽樞下ニハ何モ爲シ得ス潜行勢居マ然レ後我
軍ノ狀況明トナルニ從フテ弱莫ニ向ワテ徐々ニ歩ミ舉リテ事ヲ謀リ
衆智ヲ集メテ計画ヲ立テ全員一致決行トナル故ニ我ニシテ數日同一
弱莫ヲ出シ長期間一配備ニテハ彼ハ其ノ弱莫ニ漸ク施スモノナリ

我ニシテ敏活ニ安ク變テ行動ヲ表スルハ彼トハ瞻視ニ苦シムナリ

三敵、偵察者ヲ捕フヘシ

察偵ヲ捕ハ獲スルコトハ我軍ニ於テハ困難ナリ故ニ警告察隊員ノ能力ヲ向上シテ以テ各種ノ機會ニ不意ニ肅清工作ヲ行フヘシ

我軍ノ威力ノ波及ト共ニ政府機関警告察ニヨリテ調査ヲ進メ彼トハ偵察行動特ニ便衣行動ヲ押ヘカテ増セハ彼トハ大ニ困ルコトナル此

矣ニ油斷アルハ彼トハ偵ヲ探ルナリ

上民ノ等謀者ヲ警告スルコトヲ取テモ風習ナリ此ノ風習ヲ改善スル

コト必要ナリ

又此ノ警告者ヲ以テ後害ナリシムルノ方法ヲ取ル爲ニ投書(記名セシメタル)コトモ一方法ナリ

投書ハ目ニ着キ易ク投入ニ便アル所ニナサルノ習慣ナリ安ク信ス

ルハ不可ナリ之ヲ判断シテ適切ニ處置スルコト所要ナリ

五 款項、彼ノ遣口ヲ閉ジテハ幹部ハ勿論狀況ニ應ジテ兵ニ至ル迄教育

シテ其ノ注意ヲ適切ニ喚起シ以テ平時我々演習的愚弄湘斷ヲ
除去セシムルコト肝要ナリ

指揮官ヲ幹部兵ヲ用フルニ之ヲ注カント状況ニ應ル如クカヲ入ルヘキ美
ヲ莫ク時々明示レ遣ル率ハ兵ヲ活カスコトニシテ此ノ親切ニ欠キ只漢
然ト使用スルハ兵ヲ死セシムルニ同レ

一本部ノ護衛ニ於テモ司令部ノ敬告ト雖目的ヲ明示レ任務ヲ如
何ニ遂行スヘキヲ示レ之ヲ演練セシメ置クコトニヨリテ其ハ至派ナル獨
ニスナリ此ノ着意ハ指揮官巡察者等ニ對シテ肝要ナリ此ノカハ我隊
ノ將校ニ極メテ貧弱ナリ

之レ經驗ニ富ムルハナリ故ニ上級指揮官ハ機ヲ逸セス仕込ムヘク各級
幹部ニ求メテ研究シ兵ヲ言ヒ味ヒ土民ノ舉動ニ目ヲ止メ其ノ能カラ
向上スヘシ此レ今日重要ナル御奉公ノカヲ得ルコト御奉行其物ナリ
時ニ日々起レ各方面ノ戦斗事故會報注意指示ニハト眞劍ニ考メテ
之ヲ自ラ体得シ又肝要事項ヲ部下ニモ教テ戰力ノ増進ヲ計ルヘシ

第十七 民衆組織ニ就テ

先般懷來縣ニ於テハ盛ニ民衆組織ヲ行ヒ居タルト狀報類々タリキ
即チ縣廳ヲ作り村長會議ヲ周チ色々ト工作ヲ行ヘリト云フハ此ノ民衆
組織ノ工作ナルヘシ

支那人特ニ當地方人ハ朴直ナル上ニ於テ威嚇ニ會セハ之ニ服従シ去
之ヲ實行スルニ忠實ナル特性ヲ有ス良民ハ其ニ怖慄ス

故ニ此ノ地域ニハ相當民衆組織ヲ行ヘルモト思フヘク思フヘク之ヲ
知ラサレハ非難ニタ事トナルヘシ

匪狀ノ搜索ト共ニ此ノ組織及敵化ヲ復知レ之ヲ破壞工作ノ第一
ハ討伐ニシテ第六政治的宣撫ヤリ

第十八 民衆ノ武器ニ就テ

我地區特ニ懷來地區内ノ民衆カ武器ヲ多ク有セルヲラント 推察スル
得ル所ナリ他地方ニ於テモ然リ特ニ手榴彈ハ多數至ル所ニ分布セラレテ
リ 此ノ事ヲ考ヘテ我ハ赤化地ニ入ルニ共ニ油斷ナキコト肝要ナリ
此ノ地域ニ入ラハ必スヤ一村毎ニ掃蕩武器回收ヲ行ハサルヘカラス

破壞工作ヲ行ハサルヘカラス

第十九 民衆ノ任務

我地已内ノ民衆カ今日進ンテ此ノ任務ニ應スルコトハ多分ナカルヘキモ強制下ニ行

フコトハ大イニアリ得ヘキ事ナルコト覺悟セサルヘカラス

之ヲ通匪者トスルコトハ稍酷ナル感アルモ情況ニアリテハ通匪者トシテ嚴重處分ヲ要ス

コトアリ得ヘキナリ 特ニ楠正成ノ泣キ渡ノ如ク吾人ノ氣付カサルキニヨリテ我ニ近接シテ

我カ情況ヲ搜索スルコトハアリ得ヘキコトナリ 物賣リトナリテ密偵シ子供ヲ愛スル我係

ノ性質ニヨリテ子供ヲ密偵トシ又ハ監視員ト為スコトハ滿洲事變以來大イニ行ハレタリ

子供カ急ニ姿ヲ消ス場合ニ於テ敵匪アリト判断スヘシト違々云ハレタルモノナリ

又婦女子ノ近接ハ大イニ警戒スヘキナリ一方宣撫懷柔出來タリト喜ヒ居ル間ニ一方其術中

ニカトリツ、アルナリ此ノ真ハ吾人ハ大イニ戒ムヘキナリ

酒色ヲ弄シテ術ヲ施スハ支那人ノ常習ナリ 彼レハ果斷ノ性ナシ乍併、悠長ニ機ヲ待ツ

テ安全有效ニ成功セントスセカ爲ニ顔色ニモ見セス却ツテ反對ニ我ヲ待遇シテ我カ虚ヲ

ツク天性ヲ有ス 通州事件ヲ見ルヘキナリ志ルヘカラス通州事件ヲ

第二十 遊撃隊ト民衆トノ關係ニ對シテ

之ヲ分離セシムルコトカ げりら攻撃隊ノ第一要件ナルハ前述ノ如ク又當地方(赤化區ヲ除ク)

ニ於テハ官憲ニ忠実ナル良民、將性ヲ利用シテ益、此工作ヲ強化スヘキナリ否我レニ一
体化ヤシムヘキナリ

赤化地帯ニ於テ討伐ト併行シテ宣撫ヲ下シ以テ匪民分離作業ヲ大ニ行フノ必要アリ
又武器圖收等ヲ行フコトモ亦重要ナル着眼ナリ

就レモ皇威徳ノ發揮ト行政機關ノ活動トニヨリテ行ハル、コトナリトス

竹第ニテ

堅壁清野ノ對策

當地方ハ戰前ニ此ノ工作隨分徹底シマリシガ如シ故ニ皇軍ハ至ル所ニ民衆ト戰ヒ民
衆ヲ檢キリ已ムヲ得サルニ出ツルナリ

今日至ル所皇軍赴ル所土民逃ケ去ルハ此ノ工作ノ習慣モテリ皇軍ヲ無理解ナラシム
ルモアリ

故ニ討伐ニ先テ此ノ習慣ヲ破壊セサルヘカラス

即チ皇軍ノ目的ノ明示

皇軍至ルモ逃クヘカラス

皇軍ハ逃クルモノヲ殺手ツ

匪ヲ助ケズニ通ツルモノハ殺手ツ

匪ノ報腹ヲ受クルカ如キコトハ將素ニナシ

皇軍至レハ良民ハ出テ迎ヘテ帽ヲ取リテ挨拶スルモノハ概テ良民ト認ム
全村出迎フヘシ地村ノモノハ指摘スヘシ之ヲ偽レハ連行禁罰ス

等ノ予告ヲ與フルコト大切ナリ

尚行政機關ヲシテ不斷ニ此ノ塋壁清野作業ヲ破壊セシムルコト肝要ナリ

0315

結論

以上げりら戦ハ圈内戦ニ於テノミ出未ル下ニシテ民心ヲ把握シテ
リテ出未ルコトナリ 幸ニ現下當地方ハ大部ノ民心ハ新政府ニ
歸スルモ匪カ及共化作業ニヨリテ民心ハ我ニ歸シアラサル所少
カラス

皇軍ト民心トノ一体化ハ蓋困難ナル事項ナリト雖之レげりら
戦思想攻撃ノ第一着手ナリ

皇軍ノ皇軍タルニ眞姿顯現ヲ第一トシ敢テ油断ナク嚴然
自己的ニ諸般ノ力ヲ活用シテ作戰目的ヲ達成セサルヘカラス
本戦法ヲ論シテ之ヲ眞剣ニ照シテ幹部以下ニ所要ノ訓練
ヲ行フコトハ眞剣ニ肝要ナリ之ヲ知ラシメスシテ慢然秋季
演習ノと氣分ニテ作戰セシムルコトハ眞剣ニ幹部特ニ上級指揮
官カ其任ヲ果シアラサルナリ下級幹部亦自ラ進ンテ研
究シ眞剣ヲ求メ眞實地現場ニ此ノ戦法ヲ考ヘザル

0316

トナルモ警戒ヲ嚴重ニスルコトカ即ケ今日最モ重要ナル事奉
公ナリ

皇軍ノ威力モ此ノ施設ト準備ト實行トニ於テ訓練ニ
於テ不十分ナルハ空偶ニ同シ後ヲニ敵ノ好餌トナリシラ
悔ユルコトアルマシ

吾等ハ今五里霧中ノ間ニ戦フノ已ムナシ
故ニ速ニ地形、人情、匪状、戦法ニ通シテ我カ力ヲ増
進シ此間敵カラ滅殺シテ以テ漸次匪力ヲ壓迫
シ之ヲ殲滅セサルヘカラス
之カ爲ニ此ノ戦法ヲ敵ニ及ホスコトモ亦妙ナリ

0317